

みずほ歯科だより

VOL. 2 0

みなさん、明けましておめでとうございます。

良いお正月は過ごせましたか？2016年は申年です。申年は「去る」年とも言われていて、『悪い事が去る』『病が去る』など幸せが訪れる年とも言われています。病院にとってこれ以上の良い年はないですね！

みなさんが今年一年、お口の中や体が病気知らずな一年になる事をお祈りしております。

歯科衛生士 藤本

親知らず 抜く？抜かない？？

『親知らずを抜いた方が良いと言われたけど・・・』『抜いた方がいいのは分かっているけど・・・』

『痛くないし、まだ抜かなくてもいいか』と抜くまでに様々な思いがあるでしょう。

今回は、親知らずを抜く、抜かないという事をどう判断するかのお話をします

抜く場合のデメリット

- * 抜いた後、痛みや腫れが出る場合がある
- * 生え方によっては外科処置になるかもしれない

抜かなかつたらどうなる？

- * 痛みが繰り返し起こる
- * 痛みが出ている時は抜けないので、
薬で一旦症状を落ち着かせる必要がある
- * 手前の歯が虫歯や歯周病にかかるかもしれない



親知らずは無理に抜く必要はありません。ただ、抜くと痛い、腫れるなどの悪いイメージが先行しがちですが、抜かない事によって引き起こる将来的なトラブルが多い事も事実です。

親知らずを残すメリット・デメリットをよく考慮した上で選択しましょう。